



りんご生産情報第12号
(10月4日～10月24日)

令和7年10月3日発表
青森県「農林水産力」強化本部

樹上選果マン

ジョナゴールドの収穫は有袋果が10月13日頃、無袋果が10月15日頃から！
シンクイムシ類などの被害果が混入しないよう選別の徹底を!!
風害・鳥害対策を万全に!!!

I 概要

10月1日現在の果実肥大は、園地でばらついているが、概ね平年並である。

ジョナゴールドの熟度は、平年並であることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月13日頃、無袋果が10月15日頃からと見込まれる。

シンクイムシ類など病害虫被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。反射資材を片付ける際に土を飛散させたり、収穫した果実は長く野積みをしない。

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が懸念される場所では、防鳥網や防鳥糸を使用する。

台風の接近や強風に備え、防風網の点検、補強などの風害対策をしっかりと行う。

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部りんご果樹課
担当者	生産振興グループ GM 工藤 秀樹
電話番号	直通 017-734-9492
	内線 5146
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊
	内線 4967

Ⅱ りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

肥大は園地でばらついているが、概ね平年並である。

○果実肥大 (10月1日現在、横径cm、平年比%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	9.5	8.1
	平 年	9.1	8.5
	前 年	9.3	8.5
	平年比	104	95
青森市浪岡北中野 (東青農林水産事務所)	本 年	－	8.2
	平 年	－	8.3
	前 年	－	8.9
	平年比	－	99
弘前市独狐 (中南農林水産事務所)	本 年	8.7	8.9
	平 年	8.9	8.5
	前 年	9.1	8.9
	平年比	98	105
板柳町五幾形 (西北農林水産事務所)	本 年	－	8.6
	平 年	－	8.5
	前 年	－	9.3
	平年比	－	101
三戸町梅内 (三八農林水産事務所)	本 年	－	8.7
	平 年	－	8.3
	前 年	－	9.1
	平年比	－	105

注) 各農林水産事務所のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) 果実熟度

ア ジョナゴールド (無袋)

10月1日現在、黒石では平年値と比較して、糖度は高く、硬度、ヨード反応及び着色指数はやや高く、酸度はやや低い。総合的に見て、熟度は平年並である。

○ジョナゴールド (無袋) の熟度の進み (調査月日：10月1日)

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード反 応指数
黒 石 (りんご 研究所)	本年	338	2.4	16.3	13.6	0.524	3.1
	平年	323	1.7	15.9	13.0	0.552	2.9
	前年	359	2.8	14.4	14.2	0.539	2.8

注1 平年：2001年～2020年の20か年平均

2 着色指数：0～5 (大きい数値ほど着色良好)

3 ヨード反応指数：ヨードデンプン反応指数0～5 (小さい数値ほどでんぷんが少ない)

イ ふじ

10月1日現在、黒石の無袋ふじは平年値と比較して、糖度、ヨード反応及び着色指数は同程度、硬度及び酸度は低い。

有袋ふじは平年値と比較して、ヨード反応は同程度、着色指数はやや低く、硬度、糖度及び酸度は低い。

○ふじ（無袋）の熟度の進み

（調査月日：10月1日）

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒 石 (りんご 研究所)	本年	279	1.3	16.7	12.0	0.360	3.6	0	0
	平年	281	1.4	17.4	12.0	0.427	3.7	3	0
	前年	294	1.2	15.6	12.6	0.333	3.7	0	0

注1 平年：2001年～2020年の20か年平均

2 蜜入り程度：0～4（大きい数値ほど蜜入りが多い）

○ふじ（有袋）の熟度の進み

（調査月日：10月1日）

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒 石 (りんご 研究所)	本年	265	1.2	16.9	11.3	0.350	3.5	0	0
	平年	275	1.6	17.7	11.7	0.420	3.6	0	0
	前年	285	1.5	15.1	12.0	0.317	3.6	0	0

注1 平年：2003年～2020年の18か年平均

2 除袋日：9月19日外袋、23日内袋

（3）作業等の進み（10月1日現在）

早生ふじの収穫が行われている。

ジョナゴールド、ふじの除袋や葉摘みなど着色手入れが行われている。

2 作業の重点

（1）中生種の収穫前落果防止対策

例年落果がみられないジョナゴールドなど中生種で収穫前落果が見え始めたら、果肉の軟化しにくいヒオモン水溶剤を散布する。なお、散布後4日間は収穫できないので注意する。

（2）中生種の収穫

ア シナノスイート

収穫時に地色が黄色く、油あがりが見られる果実は、心腐れ果の可能性が高いので、見つけ次第摘み取る。平年の収穫始めは10月10日頃である。

シナノスイートの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
13～15ポンド	14%以上	2 以下	4 以上

注) 食味：指数 1（未熟）～ 5（非常に良好）

イ ジョナゴールド

熟度は平年並のため、収穫始めは黒石で有袋果が10月13日頃、無袋果が10月15日頃からと見込まれる。

収穫時期が早すぎると、貯蔵中のビターピットの発生が多くなる。また、収穫時期が遅すぎると、油あがりや貯蔵中の軟化、ゴム病の発生が多くなるので適期に収穫する。

ジョナゴールドの収穫時の標準指標

	硬度	糖度	ヨード反応	食味
有袋	15～17ポンド	13%以上	2.5以下	3 以上
無袋	14～16ポンド	13.5%以上	2 以下	3.5以上

ウ 千 雪

果皮色が濃紅色になった頃が収穫の目安である。着色が揃わない場合は2回に分けて収穫する。平年の収穫始めは10月18日頃である。

千雪の収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
17～19ポンド	14%以上	1.5以下	4 以上

(3) 晩生種（黄色品種）の収穫

シナノゴールドなどの黄色品種は、収穫時期の判断が難しいので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して適期に収穫する。

ア 星の金貨

カラーチャートを利用し、樹中の平均的な果実の表面色指数が4～5に達してから収穫する。大玉果は軟果やビターピットの発生が懸念される。また、収穫が遅れた果実は貯蔵後にくちあ部の裂果を生じる場合があるので、適期に収穫する。平年の収穫始めは10月25日頃である。

星の金貨の収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
14～16ポンド	14%以上	2.5以下	4 以上

イ シナノゴールド

カラーチャートを利用し、表面色指数5の果実が全体の半量に達してから収穫する。収穫時期が早すぎると酸味が強く食味が劣る。また、収穫時期が遅すぎると油あがりが多くなるので適期に収穫する。平年の収穫始めは10月26日頃である。

シナノゴールドの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
14～16ポンド	14%以上	1.5以下	3.5以上

ウ めんま名月

カラーチャートを利用し、表面色指数2以上の果実が全体の7割に達してから収穫する。過熟果ではがくあ部の裂果が発生することがあるので適期に収穫する。平年の収穫始めは10月30日頃である。

めんま名月の収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応
12～16ポンド	14%以上	1.5以下

食味	蜜入り程度
4以上	2以上



(4) 山選果の徹底

山選果は、十分な明るさの下で、果実全体を確認して行う。

日焼け果、さび果などは、出荷先の基準により選別・出荷する。

シンクイムシ類の被害果を流通させないために、収穫した果実は徹底して選別する。特にモモシンクイガによる、がくあ部付近の食入痕や滴の痕を見逃さないように注意する。

ナミハダニ越冬成虫の果実への寄生がみられる園地では、被害果を選別し、出荷前にエアダスター処理等で適切に処理する。なお、エアダスター処理は害虫が飛散する恐れがあるため、処理は選果・こん包場所と別の場所で行う。

リンゴハダニの越冬卵やカイガラムシ類など、エアダスター処理で除去できない場合は腰の強い絵筆を短く切ったもの等で掻き取る。

▲ 「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」

【お問い合わせ先】

(公財) 青森県りんご協会
電話 0172-27-6006

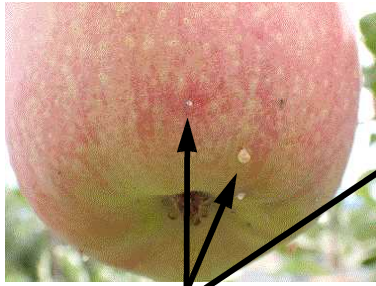


図1 モモシクイガ幼虫の食入痕から垂れた滴の痕(滴が乾燥したもの)

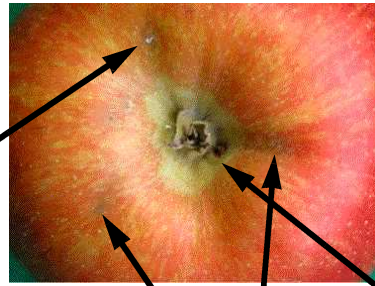


図2 モモシクイガ幼虫の食入痕

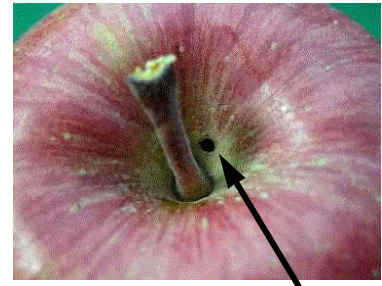


図3 モモシクイガ老熟幼虫の脱出口



図4 ナミハダニ越冬成虫



図5 リンゴハダニ越冬卵

(写真提供：(地独) 青森県産業技術センターりんご研究所)

(5) 果実疫病対策 (おそ疫病)

反射資材を片付ける際は、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしない。

(6) 炭疽病対策

発病果をそのまま樹上に放置すると降雨などで下枝の健全果に感染が拡大するので、見付け次第必ず摘み取り、土中に埋める。

伝染源となるニセアカシアやくるみ類などは、りんご園の周りから取り除く。

(7) 輪紋病対策

発病果は見付け次第摘み取り、土中に埋める。

枝幹上のいぼ皮病斑が伝染源となるので、削り取ってトップジンMペーストを塗る。削り取りができない細い枝は、見付け次第切り取り、適切に処分する。

(8) 褐斑病対策

一部園地で発生が見られている。被害葉は見付け次第摘み取り、適切に処分する。



図1 褐斑病の被害葉



図2 病斑上に虫糞状の黒い粒（分生子堆）を生じる
（写真提供：（地独）青森県産業技術センターりんご研究所）

（9）シンクイムシ類対策

被害果をそのまま園地に放置すると次世代の発生源となるので、被害果は見つけ次第摘み取り、7日間以上水に漬けるか、穴を掘り10cm以上の土をかぶせて埋める。

（10）鳥害対策

野鳥による被害を防ぐため、以下の対策を行う。

ア ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が懸念される場所では、防鳥網を使用する。防鳥網の網目は35mm以下とする。

イ 防鳥糸を張り巡らす場合は、鳥の種類に合わせた間隔（カラスの場合1m以下）で張るようにするが、ヒヨドリは体が小さく、さらに飛行能力が高いため効果は低い。

ウ ディストレスコールを使用した音声機器や爆音機、かかしなどの防鳥器具は慣れが生じやすいので、ひとつの器具を長期間使用せず、様々な器具を組み合わせながら短期間で変えるようにする。

（11）風害対策

台風の接近や強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

3 その他の一般作業

（1）草刈り （2）枝吊り、支柱入れ

4 今後の作業（10月25日～11月6日）

（1）晩生種の着色手入れ・収穫 （2）病害虫対策 （3）風害対策
（4）鳥害対策 （5）野ネズミ対策

《 ツキノワグマ出没警報発令中！！（５月１日～１１月３０日） 》

- ・ １人での作業をできるだけ避け、ラジオやクマよけスプレーを携帯するなど、人身被害の防止に努めましょう。
- ・ 収穫した果実や残さ、弁当の空容器などは、クマを引き寄せる原因となるため、農地に放置せず、適切に処理しましょう。
- ・ 農地周辺の藪を刈払って見通しを良くすることで、クマの隠れ場所を無くし、クマが農地に近づきにくい環境を整えましょう。
- ・ 詳細は県ホームページをご確認ください。

(https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/kuma_cyuui.html)

《 秋の農作業安全運動展開中！（９月～１０月） 》

いつもの作業に、いつも以上の注意を。

脚立作業は、安定した場所にしっかり固定し、天板上での作業は行わず、脚立から身を乗り出さないようにしましょう。

機械作業は、ほ場の出入り口などの段差や傾斜による転倒に注意するとともに、安全ベルト着用など、転落対策を徹底しましょう。

《 「あおり９」の生果実流通 》

現在、「あおり９」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和７年１０月２７日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

令和７年１０月２７日以降は、「あおり９」で販売してください。

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

農林水産省「農薬登録情報提供システム」(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように農薬飛散低減対策に留意して散布する。

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを！！ 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

【第3回りんご等果樹生産技術研修会のお知らせ】

日時	場所
10月9日（木） 午前10時～12時	（地独）青森県産業技術センター りんご研究所研修館 （黒石市大字牡丹平字福民24）

次回の発行は令和7年10月24日（金）の予定です。